
ゆーれい日記（青）

破矢音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゆるい日記（青）

【Nコード】

N0804BA

【作者名】

破矢音

【あらすじ】

俺こと燕つばくら 黒夜くろやは期待と心配を胸に中3へと進学した。平穩無事に過ごせます様に。そんな俺の願いは一瞬で真夏のソフトクリームの如く溶けたのである。……………この、Dクラスの連中によって。
（注）これはゆるい日記（赤）の番外の話です。

中3でっせ!!

ひらり

ひらり。

季節は春。

ここ、鳥が丘学園では今日が新年度の始業式だ。

「……俺らも中3か」

「なにひたってんだよクロ。まだ中3だぜ？」

桜の木がセンスよく植えられた中学第二校舎の前で、俺こと燕つばき
黒夜は友人の鴉里くろやからと並んで立っていた。

こう、何て言うか……校舎が変わった所為か、何となく成長した
気分になるのは気せいだろうか……

………というか。

「多いな」

「？ 何がだ？」

「いや、あの………死者が」

「ああ！ ユーレイか!!」

「ちよ、桃士こえでけえよ」

「あはは！ わりいわりい」

小学4年からのまさに腐れ縁の桃士は俺のこの体質を知っている。
………つかバレた。

「俺の予想！」

クロのクラスはD!!」

「……根拠は？」

「俺がDだから」

まったく、毎年思うがこれ狙ってんじゃね？

*

「おっはよー!!」

「ちよ、桃士声！ 声でけえから！！」

勢い良くDクラスに入ると、ほとんどの生徒が席についていた。まあ、俺らギリギリだしな、と納得しつつ自分の席を探す。

「俺の席こころ！」

って、クロが隣か」

「つばくらとからすざとだからなあ」

つとかは出席番号順で席に着くと丁度隣くらいになる。これも毎年恒例。

「……で」

前の奴はどんな奴かな………

-
-
-
-
-
-

「よし。俺はなんにも見なかった！」

「は？いきなりどうしたんだよクロ」

H
A
H
A
H
A
H
A
!
!

見えてない。見えてないさ！俺には前の席の奴のピアスじゃらっじやらの耳した女生徒なんて見えてないさ！！耳からのびるイヤホンの線も見えてないさ！！！一昔前っぽい木刀なんか、見えないね！！！！

さして。もう片方のお隣さんはあ

「……………」

「？おい、さっきから挙動不審だぞ。まじめにどーしたクロ」

「見えてない見えてない見えてない見えてない見えてない見えてない……………！」

「ちょ、クロ……そうか、ついに狂ったか……。ああ、哀れなクロ！」

「おい、俺は狂っちゃいねーからそのどっから出したかわかんねーロザリオしまえ」

「酷いな。俺や立派なクリスチャンだぞ」

「知ってるわんな事」

ああああ、いいのかねこんな髪の毛オレンジに染めてる信者なんて。……まあ、こいつん家教会だかなあ。

って。ンな事よりどーなってんだとなりの奴！？

なんでうさ耳カチューシャ着用したナイスバディの外人さんが俺の隣座ってんの！？

「っ！ そうだ後ろ！ 後ろは！？」

「は？」

桃士がまじめな顔で「大丈夫か？」なんて言って来るけど無視！
後ろの席の奴が最後の頼みのつ……………な……………。

「……………」

神様あああああああああつ!!!

何でッ!? なっ……そんなに俺の事嫌いつすかああ!?

つかなに!? なんで後ろの奴女無言でライフルっぽいもの磨いてんの!? それもメガネスー●ーの眼鏡拭きでッ!! しかも頭にごっついゴーグルっぽいもんあるし! さらに鞆からは銃っぽい何かが出てるし!!

「……もうやだ………」

「んああ?」

しまった。

「なんか言ったか?」

前の奴に俺のツイートが聞こえたらしい。
切れ目な黒い瞳がちり睨まれている。

「いや……その……お、おはよう」

俺えええええええ! なに和やかに挨拶してんの!?

俺がビビりながら挨拶すると、前の奴は虚をつかれた様な顔になり、

「おっ、おはよう……」

「?」

「いや、なんでもねえ」

「いやいや、俺何も言っただけだな」

フイツ、と俺に再び背を向けた彼女に疑問符を浮かべつつ、俺は

この最悪な新年度スタートに気を滅入らせた。

中3でっせ!! (後書き)

ちよつと書いてみたかった。

(赤) 読んだ人なら前の人が誰なのか分かる……かなあ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0804ba/>

ゆーれい日記（青）

2012年1月1日22時47分発行